

●成果と課題

(%)

質問項目	2018年度2年生の肯定的評価			2018年度3年生の肯定的評価		
	1年生時	2年生時	比較結果	2年生時	3年生時	比較結果
「道徳の時間」では、自分のことを振り返りながら考えている	84.3	89.3	+5.0	67.7	77.8	+10.1
「道徳の時間」では、友達と話し合うなどして、自分の考え方を深めたり、広げたりしている	77.1	82.1	+5.0	68.7	77.8	+9.1
「道徳の時間」で勉強したことを、自分の生活にいかしている	72.3	76.2	+3.9	60.6	71.7	+11.1
相手のことを思いやり、親切にしている	91.6	95.2	+3.6	86.9	92.9	+6.0

〈成果〉

- 上の表は各学年の変容をまとめたものである。道徳科で扱う道徳的課題を自分事として捉え、振り返りながら考える生徒や、友達と話し合うなどして、自分の考え方を深めたり、広げたりしようとする生徒の割合が増えた。道徳通信等の取組を通して、生徒の様子や授業についてどんな成果や課題があったのかを把握・評価し、「問い」の在り方について研究を重ねて工夫してきたことが成果につながったと考えている。また、生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子についての評価を生かしながら、授業や学校生活の様々な取組を組織的・継続的に取り組んできたことも成果に表れているととらえている。
- 道徳科で勉強したことを、自分の生活に生かそうとする生徒の割合が増えた。道徳通信を毎時間発行し続けたことや、道徳コーナーを設置し、道徳の時間に学んだことを授業だけで終わらせずに、日常生活の中でも意識できる環境を作ったことが、多様な見方・考え方にふれることになり、成果につながったと考えている。

〈課題〉

- 全体的に意識調査の結果、肯定的評価の割合が増えてはいるが、増えた割合を見ると、大きな変化にはなっていない。これは、生徒の思考を深める「問い」（考えたくなる「問い」・新たな気づきのある「問い」）が不十分であることが考えられる。